

# 紙ふうせん

KAMIFUSEN No. 78

成田市立図書館だより 第78号

2014年(平成26年)11月30日発行

編集 成田市立図書館

☎ 0476-27-4646 (自動応答)

〒286-0017 千葉県成田市赤坂1-1-3

0476-27-2000 (直通)

<http://www.library.city.narita.lg.jp>

FAX 0476-27-4641

## 図書館とともに時間旅行30年

成田市立図書館は今年で開館30周年を迎えました。30年の間に本の相談コーナーの設置、公津の杜分館の開館など様々なことがありました。社会の変化もめまぐるしいものがあります。ここでは図書館と社会の30年を振り返ります。懐かしさ、驚き、発見があるかもしれません。ちょっとした時間旅行をしてみましょう。

### 1984～1989

#### 10月27日、蔵書16万冊でスタート

市制30周年の1984年、県内の市立図書館ではしんがりに近い施設として開館しました。この時期の図書館にはインターネットはおろかワープロも無く、タイプライターで文書を打っていました。

当時としては画期的な50万冊を収容できる大規模書庫を持ち、蔵書は16万冊ほどでした。待望の図書館が開館したということで、多くの方々に利用していただき、時には書棚がガラガラの状態になる程でした。1989年には市民1人あたりの貸出が全国の市で1位を記録しました。開館の頃、人気が高かったのは、赤川次郎・西村寿行・平岩弓枝の小説で、彼らの著作は数多く貸し出されました。

#### 社会の主な出来事

- 1984 ロス五輪カール・ルイスが4冠
- 1985 日航ジャンボ機墜落事故
- 1986 チェルノブイリ原発事故
- 1987 国鉄分割民営化
- 1988 青函トンネル開通
- 1989 消費税3%で導入

#### ベストセラー (『出版年鑑』より)

- 1984 『愛のごとく』(上・下) 渡辺 淳一
- 1985 『女の器量はことばしだい』 広瀬 久美子
- 1986 『化身』(上・下) 渡辺 淳一
- 1987 『サラダ記念日』 俵 万智
- 1988 『ノルウェイの森』(上・下) 村上 春樹
- 1989 『TUGUMI』 吉本 ばなな

#### 流行語

- 1984 教官!
- 1985 イッキ!イッキ!
- 1986 ファミコン、新人類
- 1987 朝シャン、サラダ記念日
- 1988 カイワレ族
- 1989 24時間タタカエマスカ



設置当初の本の相談コーナー



学校訪問おはなし会

### 本の相談コーナー新設 蔵書は50万冊に

空前のバブル景気が終わりを迎えたこの時代、1994年には本館に本の相談コーナーがお目見えしました。貸出・返却で忙しく立ち働くスタッフとは別に、本や調べ物について様々な質問・相談ができる窓口ができました。

図書館の仕事の幅も広がりを見せ、小学校への訪問おはなし会が始まり、第1回朗読奉仕者養成講座が開かれ、目の不自由な方々のための録音図書の作成が始まりました。

蔵書は年々増えて50万冊を超え、空っぽだった書庫へ次々に本が入れられました。

#### ベストセラー（『出版年鑑』より）

- 1990 『愛される理由』 二谷 友里恵
- 1991 『もものかんづめ』 さくら ももこ
- 1992 『さるのこしかけ』 さくら ももこ
- 1993 『マディソン郡の橋』 R・J・ウォラー
- 1994 『大往生』 永 六輔
- 1995 『ソフィーの世界』 J・ゴルデル

#### 社会の主な出来事

- 1990 大学入試センター試験開始
- 1991 湾岸戦争勃発
- 1992 バルセロナ五輪で岩崎恭子が金メダル  
「今まで生きてきた中で一番幸せ」
- 1993 Jリーグ発足
- 1994 関西国際空港開港
- 1995 阪神淡路大震災、地下鉄サリン事件

### 1991年のベストセラー

Pick up!

「もものかんづめ」 さくら ももこ

「ちびまる子ちゃん」で有名なさくらももこのエッセイデビュー作。彼女の初期エッセイは「さるのこしかけ」「たいのおかしら」と続きます。



#### 流行語

- 1990 アッシー君、オヤジギャル
- 1991 僕は死にましえ〜ん  
…じゃあ〜りませんか
- 1992 ほめ殺し、冬彦さん
- 1993 天の声、聞いてないよオ
- 1994 就職氷河期、ヤンママ
- 1995 安全神話、がんばろうKOBE



リサイクルフェア（1996年開催）



1998年にはリサイクルコーナーができました

### 図書館ホームページ開設 宮部みゆき、東野圭吾の小説が人気に

インターネットの急速な普及に合わせて図書館のホームページを開設し、蔵書の検索が自宅でできるようになりました。本館にもインターネット・コーナーが設けられ、図書館での調べ物の幅が更に広がりました。

朝の開館が30分早くなって9時30分になり、閉館時間も平日は19時までに延びるなど、図書館の開館時間が延長されて、さらに利用しやすくなりました。

今も幅広い年代の読者に人気のある宮部みゆき、東野圭吾作の小説に多くのリクエストが入るようになりました。蔵書はさらに厚みを増して70万冊になり、皆さんの幅広いご要望に的確に応えられるようになっていきました。

#### ベストセラー（『出版年鑑』より）

- 1996 『脳内革命』（1・2） 春山 茂雄
- 1997 『失樂園』（上・下） 渡辺 淳一
- 1998 『大河の一滴』 五木 寛之
- 1999 『五体不満足』 乙武 洋匡
- 2000 『だから、あなたも生きぬいて』 大平 光代
- 2001 『チーズはどこへ消えた?』 スペンサー・ジョンソン

#### 社会の主な出来事

- 1996 アトランタ五輪で有森裕子が銅メダル  
「自分で自分をほめたい」
- 1997 香港返還、消費税5%スタート
- 1998 長野五輪、向井千秋さん2度目の宇宙へ
- 1999 東海村JCO臨界事故
- 2000 シドニー五輪で高橋尚子が金メダル
- 2001 アメリカ同時多発テロ

#### 1999年のベストセラー

Pick up!

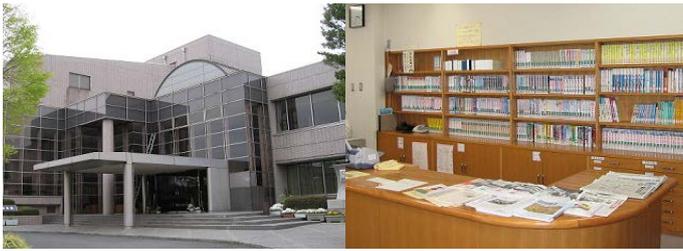
#### 『五体不満足』 乙武 洋匡

作者は当時大学生。明るいタッチで書かれた半生が話題を呼び、500万部を超える大ベストセラーになりました。



#### 流行語

- 1996 ルーズソックス、メイクドラマ
- 1997 たまごっち、マイブーム
- 1998 ハマの大魔神、貸し渋り
- 1999 ブッチホン、だんご3兄弟
- 2000 おっはー、IT革命
- 2001 明日があるさ、聖域なき改革



大栄分館（公民館図書室）の様子



当時使用していた自動貸出機

### 開館20周年 本館では自動貸出機が稼動

図書館は長い年月蔵書を蓄積して、新刊書店で入手できなくなったものを含めて、利用する方々に本を提供しています。当館でも総数80万冊（書庫内に40万冊）を超えた蔵書を最大限活用し、書庫内からも年に7万冊の本を皆さんにお渡しできるようになりました。

2006年には2町と合併して新・成田市が誕生し、既存の図書室が図書館下総分館と大栄分館（現在は公民館図書室）として生まれ変わりました。

本館には利用者の方が自ら貸出手続きができる自動貸出機が設置されました。この機器は設置当初から多くの方々に利用され、本館の貸出の約6割がこれを使って行われています。ビデオ・DVDの貸出が始まったのもこの頃からです。また、玄関入口にBDS（貸出手続き確認装置）を設置したことにより、所在不明になる図書が大幅に減少しました。

### ベストセラー（『出版年鑑』より）

- 2002 『生き方上手』 日野原 重明
- 2003 『バカの壁』 養老 孟司
- 2004 『世界の中心で、愛をさけぶ』 片山 恭一
- 2005 『頭がいい人、悪い人の話し方』 樋口 裕一
- 2006 『国家の品格』 藤原 正彦
- 2007 『女性の品格』 坂東 真理子
- 2008 『夢をかなえるゾウ』 水野 敬也

### 社会の主な出来事

- 2002 日韓ワールドカップ
- 2003 東京ディズニーランド開園20周年
- 2004 新潟県中越地震
- 2005 愛知万博
- 2006 トリノ五輪で荒川静香が金メダル
- 2007 第1回東京マラソン開催
- 2008 リーマンショック

### 2003年のベストセラー

Pick up!

#### 「バカの壁」 養老 孟司

解剖学者である著者が、脳科学を用いてなぜ人はわかりあえないのかを解説。毎日出版文化賞特別賞受賞作。



### 流行語

- 2002 タマちゃん、ムネオハウス
- 2003 なんでだろう～、毒まんじゅう
- 2004 気合だー！、冬ソナ
- 2005 小泉劇場、クールビズ
- 2006 ハンカチ王子、格差社会
- 2007 ハニカミ王子、ネットカフェ難民
- 2008 アラフォー、名ばかり管理職



役目を終えた移動図書館・こぼと号



新たに開館した公津の杜分館

### 移動図書館の終了 公津の杜分館開館

紙の本に加えて電子書籍が普及し始め出版界は新しい時代に入りました。図書館の利用形態もインターネットから本を予約する人が急増するなどの変化がありました。

2009年から本館で祝日開館が実施され、2011年の東日本大震災では図書館の多くの本が書棚から落下しましたが、幸いにもケガ人などの人的被害はありませんでした。

2013年本館に予約受取コーナーが開設されるなど窓口のレイアウトが一新され、同年7月には開館時の蔵書が8万冊と大型の公津の杜分館がオープンしました。一方で30年以上の長きにわたり市内を巡回してきた移動図書館がその役目を終えました。

ベストセラー（『出版年鑑』より）※2014のみトータル調べ

- 2009 『1Q84』（BOOK 1 BOOK2） 村上 春樹  
 2010 『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』 岩崎 夏海  
 2011 『謎解きはディナーのあとで』（1） 東川 篤哉  
 2012 『置かれた場所で咲きなさい』 渡辺 和子  
 2013 『医者に殺されない47の心得』 近藤 誠  
 2014(上半期) 『長生きしたけりゃふくらみはぎをもみなさい』  
 榎 孝子

### 社会の主な出来事

- 2009 バラク・オバマが黒人初のアメリカ大統領に  
 2010 チリ鉱山落盤事故 33人を全員救出  
 2011 東日本大震災  
 2012 山中教授がiPS細胞でノーベル賞を受賞  
 2013 富士山が世界文化遺産に  
 2014 消費税8%に

### 2009年のベストセラー

Pick up!

『1Q84』（BOOK 1 BOOK2） 村上 春樹

ノーベル文学賞候補と目される著者の長編小説。  
 中国、フランス、アメリカなど20ヶ国以上で翻訳されており、海外でも支持を得ています。

### 流行語

- 2009 草食男子、こども店長  
 2010 ゲゲゲの、女子会  
 2011 絆、なでしこジャパン  
 2012 ワイルドだろお、iPS細胞  
 2013 今でしょ、倍返し  
 2014 ダメよ～ダメダメ、集団的自衛権

いかがでしたでしょうか。本館の2階展示コーナーでは2014年12月末まで「開館30周年 ー図書館30年のあゆみー」と題して、写真とともに図書館の30年を振り返っています。開館時に使用したエプロンや紙ふうせんのバックナンバーなど、成田市立図書館ゆかりの品々も展示しておりますので、ぜひご覧ください。

科学あそび講座 (2014. 7. 25)



# 「偏光板であそぼう！」

～色が変わるスタンドグラスをつくろう～

講師 科学読物研究会 坂口美佳子 氏



雨上がりの虹がどのようにできるか知っていますか？今年度の科学あそび講座は、「虹色」と「光」をテーマに開かれました。例年たくさんの参加者に恵まれているこの講座ですが、今年度も午前・午後合わせて62人の子どもたちが参加しました。

まず、これまでに虹を見た体験や身の回りの虹色の物について意見を出し合いました。子どもたちの中からは元気に手が挙がり、普通の虹だけでなく、二重の虹、シャワーを使ったときに見えた虹、シャボン玉の中に見える虹色など、様々な発言が飛び出しました。

つぎに講師の坂口先生が、部屋を暗くして光を使った様々な実験を見せてくれました。中でも赤・青・緑のライトと紙コップを使って光のジュースを作る実験はおおいに盛り上がり、三色すべてを一つのコップに入れると白色の光になるという結果には、一際大きな驚きの声があがりました。その後の先生の説明で、太陽の光にはたくさんの色の光が混ざっており、それが雨粒などの透明な物に反射して何色にも分れることで虹色ができることを学びました。

最後に、一つの向きの光だけを通す性質を持つ偏光板とセロハンテープを利用して、回すと虹色に色が変わるスタンドグラスを作りました。出来上がった作品はみんなで光にかざして楽しみ、思い思いにマスキングテープで飾って家に持ち帰りました。短い時間でしたが、色とりどりの光を見つめて過ごした楽しいひとときになったのではないのでしょうか。

**参考になる本** ※すべて図書館に所蔵がある本です。

- 『偏光板であそぼう』 『光のスペクトルと原子』 板倉聖宣／著 仮説社  
 『見えない光を見る』 滝沢美絵／文 大月書店  
 『光ってどんなもの』 マリア・ゴードン／さく ひかりのくに  
 『にじってなあに』 永田英治／ぶん 大日本図書  
 『光と色で遊ぶ』 佐々木伸／著 フレーベル館  
 『ひかりのてじな』 村田道紀／文・絵 偕成社  
 『よあけ ゆうやけ にじやオーロラ』

かこさとし／絵と文 農山漁村文化協会

万華鏡みたいに色が変わるよ！



## 編集後記

開館30年を駆け足で振り返りましたが、紙面にのせきれなかったエピソードはまだあります。

五木寛之氏、重松清氏など30年の間に多くの作家が図書館を訪れました。今年は鎌田實氏が図書館を訪れ30周年に花を添えていただきました。

成田市立図書館だより

No. 78

発行

成田市

編集

成田市立図書館

〒286-0017 千葉県成田市赤坂1-1-3

TEL0476 (27) 2000

発行日

2014. 11. 30

登録番号

成教図 14-034